

大東市立歴史民俗資料館 令和2年度企画展



なつやすみ
こどもれきみん

切

る

道

具

8/1(土)

9/27(日)



大東市立歴史民俗資料館

〒574-0015大阪府大東市野崎3-6-1

大東市立歴史とスポーツふれあいセンター内

休館日 | 第1・3火曜日

電話 | 072-876-7011 FAX | 072-876-7702

H P | <http://rekisupo.com>



いま わたし つか どうぐ いつ つか
今の私たちが使っている道具は、いったいつ頃から使わ
れているのでしょうか。

むかし ひとたち どうぐ つか つく いえ た もの
昔の人達も道具を使って、ものを作り、家をつくり、食べ物を
手に入れてきました。そういった道具が変化して、今も使われて
います。今回は「切る」ための道具を集めて展示しています。ち
ょっと昔の道具と、最近の道具を比べてみましょう。道具に使わ
れている材料や形は、どう変化しているのでしょうか？

むかし だいとうし いき かつやく しょくにん たち つく ふみ
また、昔の大東市域で活躍していた職人さん達が作った「踏
ぐるま ふみぐるまづく つか どうぐ てんじ
車」と、踏車 作りに使われた道具たちも展示しています。



てんじ ないよう 展示内容

だい しょう き どうぐ いま むかし 第1章 「切る」道具の今と昔

むかし どうぐ さいきん つか どうぐ なら てんじ
ちょっと昔の道具と、最近使われている道具たちを並べて展示しています。

みなさんが使っている道具と、どんな違いがありますか？

だい しょう だいとうし いき つか どうぐ つく どうぐ 第2章 大東市域で使われてきた道具と、作られた道具たち

かわ つか ふね ふみぐるま のう き ぐ つく しょくにん
川で使う「舟」や「踏車」という農機具を作る職人さんが、

むかし だいとうし いき す
昔の大東市域に住んでいました。

かれ どうぐ
彼らの道具は、どんなものだったのでしょうか？



こどもイベント

たけ ゆみ や つく 「竹で弓矢を作ってみよう」

にちじ
日時:9月13日(日) 10:30～

ばしょ だいとう だいとうし や がいかつどう
場所:キャンピ大東(大東市野外活動センター)

ひよう えん ほけんだいこ
費用:500円(保険代込み)

ていいん めい しょうちゅうがくせいたいしょう みしゅうがくじ ほ ごしゃ どうはん
定員:20名 小中学生対象(未就学児は保護者同伴)

もうしこ せんみ:8月1日(土)から電話または来館で受付。

